

各務原市新総合体育館整備に関する事例視察の概要

	1	2	3	4	5
施設名	四日市市総合体育館	KTXアリーナ (江南市スポーツセンター)	エナジーサポートアリーナ (犬山市体育館)	日立市池の川さくらアリーナ	かみす防災アリーナ
自治体人口 (令和3年7月1日現在)	約31万人	約10万人	約7.3万人	約17万人	約9.5万人
事業手法	ECI(技術協力・施工)方式+直営	従来型+直営	従来型+指定管理	従来型+指定管理	PFI方式(BTO)
敷地面積	約251,312㎡(中央緑地)	約32,904㎡(グラウンド等含む)	約38,000㎡(羽黒中央公園)	約62,000㎡(市民総合運動公園)	約210,000㎡(神栖中央公園)
建設年	2020年	2018年	2016年	2017年	2019年
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造 地上3階建	鉄筋コンクリート造+鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 地上2階建	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上2階建	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造+ 鉄骨鉄筋コンクリート造) 地上2階建	鉄骨造 地下1階、地上2階建
延床面積	約17,548㎡	約7,883㎡	約6,541㎡	約9,770㎡	約20,145㎡
開館時間	9時~21時	8時30分~21時30分	8時30分~21時30分	9時~21時	9時~21時
休館日	12月29日~翌年1月3日	12月29日~翌年1月4日	月曜日(祝日・振替休日を除く。) 12月28日~翌年1月3日	12月29日~翌年1月3日	月曜日(祝日・夏季期間を除く。) 12月28日~翌年1月3日
駐車台数	第1駐車場:600台 第2駐車場:250台(9月より供用開始)	272台 (別途、敷地外の借地に26台駐車可能)	262台 (別途、近隣の広場に200台程度駐車可能)	289台 (別途、近隣に880台の臨時駐車場、 196台の野球場脇駐車場有)	470台 (別途、公園敷地内に1,470台の駐車場有)
主な施設構成	アリーナ、弓道場(遠的射場・近的射場)、トレーニング ルーム、ウォーキングコース、多目的室、会議室、スカイ ストリート(屋上庭園)など	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、フィットネ ススタジオ、ランニングコース、会議室など	メインアリーナ、サブアリーナ、多目的スタジオ、トレーニ ングルーム、ランニングコース、親子ふれあいルーム、多目 的室など	メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道場(近的射 場)、トレーニングルーム、ランニングコース、キッズルー ム、研修室、会議室など	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、温水プー ル、幼児用プール、音楽ホール、温浴施設、キッズルー ム、スタジオ、カフェなど
アリーナ面積	約3,308㎡(70m×47m) ※隣接して第2体育館あり	メイン:約1,900㎡(49m×38m) サブ:約948㎡(27m×34m)	メイン:約1,760㎡(45m×37m) サブ:約406㎡(15m×24m)	メイン:約2,379㎡(65m×37m) サブ:約842㎡(23m×37m)	メイン:約2,419㎡(60m×40m) サブ:約646㎡(33m×19m)
競技 面数	メイン アリーナ バレーボール4面、バスケットボール3面、バドミントン20 面、卓球48台、ハンドボール2面	バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン10 面、ハンドボール1面、フットサル1面	バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン8面	バレーボール3面、バスケットボール3面、バドミントン12 面、卓球16面、ハンドボール1面	バレーボール3面、バスケットボール3面、バドミントン12 面、フットサル1面
	サブ アリーナ -	バレーボール2面、バスケットボール1面(余幅NGだがライ ンは2面分)、3×3バスケットボール4面、バドミントン6面、 バウンドテニス6面	バレーボール1面、バドミントン2面	バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン4面、 フットサル1面(一般的な40m×20mではない)	バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン3面、 フットサル1面(一般的な40m×20mではない)
観覧 席数	固定席 約3,000席 可動席 約500席 (移動式)	約870席	約600席	約1,480席 約1,152席 (壁収納式)	約2,500席 約2,500席 (事業者による仮設であり体育館設備としては無し)
プロリーグ開催実績	V1リーグ(女子)、V2リーグ(男子)	-	B3リーグ	V1リーグ(女子)、B2リーグ	B2リーグ、F1リーグ、Tリーグ
全景写真					
アリーナ写真					
配置図					
施設の特徴、 独自の工夫点等	<ul style="list-style-type: none"> 国体の会場となる施設として整備。 31万人都市に相応しいシンボリックな施設として整備。 公園との一体的な活用を前提とした整備内容。(第2体育館、陸上競技場、フットボール場を併設。第2体育館は延床面積約2,436㎡、アリーナ約1,044㎡で渡り廊下で繋がっている。) 飲食・物販は常設せず、スペースのみ確保。 公園利用者も施設の更衣室やシャワーを利用可能。 アリーナ内の自然換気が可能なルーバーを設置。 防災拠点として指定避難所に位置付け。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧体育館とプールがあった敷地に、新たなスポーツ施設の拠点として整備。(武道館、野球場、テニスコートを併設。武道館は延床面積約2,866㎡で渡り廊下で繋がっている。) グラウンド利用者も更衣室やシャワーを利用可。 防衛省の補助金を活用して整備。 プロの興行目的の利用は禁止。 防災拠点として指定避難所に位置付けており、備蓄倉庫や雨水貯留槽、自家発電設備、マンホールトイレ等を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> URに事務委託して公園(サッカーグラウンド)と一体的に整備。 指定管理者であるミズノ及びミズノスポーツサービスにより運営。 スポーツメーカーならではのスタジオレッスンやイベント等の実施により、にぎわいを創出。 イベント時は近隣の広場を駐車場に開放。 防災拠点として指定避難所に位置付け。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災で被災した中央体育館の建替え事業。 陸上競技場、野球場、テニスコートと一体的に整備。 可動席は壁面収納式でフルオートタイプを採用。 タラフレックスは敷設用に別途購入。 メインアリーナとサブアリーナが近接。 武道場はスプリング床を使用。 駐車場の一部を通常時はスケートボードや子どもの自転車練習エリアとして活用。 防災拠点として指定避難所に位置付け。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館機能の他にプール、ホールを備えた複合施設。 仮設席は利用者が設置。 メインアリーナとサブアリーナが近接。 サブアリーナは個人利用の曜日、時間を設けている。 ロビーの家具類は移動可能なキャスター式を採用。 B1リーグ昇格のため、大型モニターの設置を検討。 カフェは別事業者が運営。 文化ホールのシートは防災に配慮しフラット仕様。 防災拠点として指定避難所に位置付け。